

世界で一つだけの命

小林 竜也

くくるみさんの話を聞いてぼくは、阪神淡路
大震災の写真を見せてもらって、阪神淡路
大震災の地震のいかりを知りところもなく強力な大
地震だったんだなぁと思いました。
だからぼくも世界で一つだけの命を自分で守
ることを今からの生活に生かしていきたいと思います。
す。
くくるみさんの話を聞いてお釜や文房

具、メッセイツをあげた人はどんな気持ちで
あげたのか不思議に思いました。ぼくは多
分困っている人たちをすくめたからだと
思いました。ぼくは、そんな人達を心の広
いところもりの人達だと思いました。
今のくらしと昔のくらしで今のくらしは昔
とちがいで、いともかいたくなくらしで、いまは
ぼくたちとてもがえることをしてるんだか
ら、くたくたになった人達のぶんもかか
って生きていけます。

ぼくは、ぼくたちの今のくらしを作ってくれた十二年前のボランティアに感謝していただき、なぜならボランティアがいないと神戸の人達は食ものも水もトイレもなくなりどんとなくなっていてたと思うからです。ぼくは、そんな神戸の復帰を手伝ってくれたボランティアを感謝してります。

ぼくは昔こんなにひどいことがあったのは、知っていたよりも、もっと、こわい、地震だったの、でそんな所に立ちむかう人達はすごい勇

かんだと思ひました。

ぼくは今日地震のことを教えるもらって今の小学校のくらしはとってもしりくらしをしこいるんだとおもひました。

ぼくは、今日人と未来防災センターにいって自分は防震ができているのかと心配だけどのこりの人生がんばってこきました。